

昭和59年度、北海道に発生した森林害虫

北海道森林昆虫談話会

(1985. 7. 23受理)

はじめに

北海道林務部・北海道営林局・各営林支局・北海道林木育種場、そのほか学校林など山林所有者からの同定依頼、被害報告。それに北海道立林業試験場・林業試験場北海道支場の観察、調査をもとにして、昭和59年度、北海道に発生した森林害虫の発生状況を北海道森林保護会議（昭和60年3月1～2日開催、第20回北海道森林昆虫談話会）でとりまとめた。

主な害虫の発生

苗畑害虫：コガネムシ類やヨトウガの幼虫による苗木の被害が各地でみられるようになった。そのほかトドマツノハダニに対する薬剤防除も行われているようであるが、ヒメカサアブラムシの発生が認められているところもある。

吸汁性害虫：トドマツオオアブラムシの被害発生は昭和39～40年ころを頂点として、57年ころには5,000ha前後の発生となっている。59年も減少傾向を示している。

虫えい害虫：マツバナタマバエは森・江差町を結ぶ線以南のマツ海岸林に寄生分布していることが確かめられている。59年春は低温で経過したことからマツ新葉の開じょが遅れ、タマバエ成虫の出現期と一致せず、産卵行動が制約されたために生息密度は低下したと推察され、幼虫寄生葉の割合は少ない。

新梢害虫：十勝岳の山麓で広範囲にハイマツ新梢部の針葉を束ねて食害するヒメハマキ類と思われる昆虫の被害が認められたが、その種類、生態などについては明らかでなく林試北海道支場で調査をしている。

食葉性害虫：全道的にハバチ類の発生が目立った年である。ヒメカラマツハバチは57年ころから少く発生し始めていたようであるが、59年には

胆振の東部地域から日高・十勝地方に広く発生した。カラマツキハラハバチは前種より食害時期が早く、標茶・厚岸町など道東地方で発生したことが報告されているが、このほか札幌市や振内町などでも幼虫が観察されている。カラマツハラアカハバチは前年につづいて胆振東部地域で約3,000ha発生しているが、北海道立林業試験場では天敵寄生蜂（ハラアカハバチヤドリヒメバチ）の導入による防除法を検討しており、その効果が期待される。トウヒハバチは札幌市ほかでグラウカトウヒなどトウヒ類を食害しているのが観察された。小蛾類ではカラマツイトヒキハマキが石狩北部、胆振・上川・釧路地域など各地で発生が認められた。

コメツガクチブサガは57年から石狩北部の低地帯で発生が認められ、59年は月形町、小平町、旭川市などに発生しているが、その発生面積は減少している。またミスジツマキリエダシャクは旭川市、美瑛町などで前年につづいて発生しているが被害は減少傾向を示している。マイマイガは各地で幼虫が観察されているが発生報告はなく低密度で経過したものと考えられる。ツガカレハは周期的に大発生が予想される年次になっているが、林試北海道支場・道立林業試験場で関係機関の協力を得て調査している結果では低密度を示している。これらの原因については解析中である。

穿孔性害虫：56年8月、台風の通過によって十勝地方を中心に風倒被害が発生した。さらにこの年10月下旬に冠雪害によって上川北部地域でカラマツの折損、幹曲りの被害が発生した。このようなことから58年には穿孔虫による立木被害の発生も予想されていたが、搬出処理などによる防除に加えて、58年夏の気温が異常ともいえる低温で経過したことから、58年度立木被害の発生は当初の予想よりきわめて少ない結果であった。しかし風倒被害跡地およびその周辺の残存立木は衰弱した

ものが多く認められ、このため59年になって褐変枯死に至ったものも多い。このような被害木は表-1に示したほかに上士幌、足寄、阿寒町などでも観察している。巻立土場にはシラフヨツボシヒゲナガカミキリ成虫の飛来も多くみられている。

(林試 小泉 力)

表-1 昭和59年度森林害虫発生概要

害虫名	樹種	発生地	備考
スギノハダニ	スギ		54年に道南地方で多発しているが、そのごの発生報告はない
トドマツノハダニ	トドマツ アカエゾマツ	恵庭署	苗畑 被害面積 (トドマツ 36,420m ² アカエゾマツ 36,410)
ヒメカサアブラムシ	トドマツ	静内署	苗畑 防除面積22,700m ²
エゾマツカサアブラムシ	エゾマツ	恵庭署 (恵庭市)	苗畑 被害面積 2,740m ² (恵庭市) 防除面積 13,510m ² 報告はないが札幌市周辺の幼令造林地に発生しているほか 苫小牧、標津町など各地の幼令造林木に寄生している
カラマツカサアブラムシ	グイマツ カラマツ	札幌市	被害木の針葉は成虫の分泌した 綿状の白色ロウ質で覆われる
トドマツオオアブラムシ	トドマツ	北海道局 函館支局 旭川支局 道有林 民有林	(被害面積) (防除面積) 1,288.94ha 1,620.14ha 73.00 104.00 241.74 81.00 1,023.00 1,023.00 764.95 578.66 計3,391.63 3,406.80
エゾマツオオアブラムシ	エゾマツ アカエゾマツ	北海道局 旭川支局 帯広支局 道有林 民有林	(被害面積) (防除面積) 997.93ha 1,369.07ha 411.82 165.00 615.00 615.00 946.00 946.00 59.70 59.70 計3,030.45 3,154.77
カラマツオオアブラムシ	グイマツ (雑種)	池田林務署 (豊頃町)	被害面積 2.00ha(豊頃町) 薬剤防除
トドマツノタマバエ	トドマツ		報告はないが太平洋岸に面した 造林地で散見
スギタマバエ	スギ		道南地方の造林地のほぼ全域 で認められる
マツバノタマ	クロマツ		森一江差町以南のマツ海岸林

害虫名	樹種	発生地	備考
エゾマツノシントメタマバエ	アカエゾマツ エゾマツ	札幌市	阿寒湖畔のエゾマツ天然木に 寄生しているのを観察した
カラマツタネバエ	カラマツ		道内各地に分布しているが、 59年は結実球果が少なかった ことから、道東地方の一部で のみ観察した。
クリタマバチ	クリ	余市町	
エゾマツハバチ	アカエゾマツ		報告なし
トウヒハバチ	トウヒ	札幌市 阿寒町	被害面積 0.10ha 単木に幼虫寄生を確認
オウトウナメクジハバチ	サクラ	札幌市	街路樹
カラマツキハラハバチ	カラマツ	釧路市 標茶町 厚岸町	(被害面積) 39.48ha 2,045.00 367.32 計2,451.80 幼虫期は7月 長枝葉を食害 するので、そ の被害はカラ マツ先枯病に 似る。
カラマツハラアカハバチ	カラマツ	苫小牧 林務署 (穂別町) (厚真町) 早来町 厚真町 鶴川町 穂別町 追分町	(被害面積) (防除面積) 240.00ha 30.00 210.00 584.14 584.14 1,975.60 1,780.04 327.72 327.72 130.88 117.84 75.57 75.57 計3,333.91 3,125.31
ヒメカラマツハバチ	カラマツ	早来町 厚真町 鶴川町 穂別町 平取町 音更町 芽室町 豊頃町 浦幌町 中札内村 更別村 大樹町 忠類村 広尾町	(被害面積) 350.00ha 180.00 400.00 1,000.00 2,842.00 16.70 14.04 5,800.00 1,000.00 56.90 26.96 480.00 250.00 610.00 計13,026.60 幼虫は6月~7 月上旬、地表 にマユを作っ てその中で越 冬、翌年の5 月中旬に成虫 が羽化するも のと思われる
オオアカズヒラタハバチ	ヨーロッパ バトウヒ	佐呂間町	富士小学校の庭園樹に58年 に食害があり、59年春は土中 に越冬している幼虫を多数観 察した。
ヒラタハバチ	ハイマツ	大雪署	枝に巣状をつくり、幼虫は旧

一種	(上川町)	葉を食する。
マツノミドリ ハバチ	ストロー ブマツ	苫小牧署 (苫小牧市)
ドイツトウヒ マダラメイガ	アカエゾ マツ	江別市
マエアカスカ シノメイガ	ヤチダモ	59年は目立った発生をしていない。
マツヒメハマキ	ストロー ブマツ	報告なし
ツマクロテン ヒメハマキ	トドマツ	幼虫は球果を加害するが、59年は結実球果の少ないことから発生報告なし
トウヒヒメ ハマキ	ヨーロツ パトウヒ	発生報告なし
カラマツヒメ ハマキ	カラマツ	札幌市
ハマキガの一種	ハイマツ	美瑛署 (美瑛町)
コスジオビ ハマキ	トドマツ	当別町
トウヒオオ ハマキ	トドマツ	札幌市
トドマツアミメ ハマキ	トドマツ	報告なし
カラマツイト ヒキハマキ	カラマツ	(被害面積)
	早来町	300.00ha
	厚真町	50.00
	深川市	17.00
	愛別町	97.68
	白糠町	21.00
	計	485.68
コメツガクチ ブサガ	トドマツ	旭川署 (旭川市)
		(被害面積)
		29.70ha
		岩見沢署 (月形町)
		62.00
		小平町
		40.00
		計 131.70
オトビスジ エダシヤク	カラマツ	
マツオオエダ シヤク	カラマツ	
ナミスジフユ ナミシヤク	広葉樹	
カラマツツツ ミノガ	カラマツ	札幌市

ミスジツマキ リエダシヤク	カラマツ	旭川市 美瑛町	(被害面積)	(防除面積)
			1.56ha	—
			74.48	56.36ha
			計 76.04	
ブナアオ シヤチホコ	ブナ		報告なし	
クワゴマダラ ヒトリ		札幌署 (札幌市)	防風林 幼虫で集団越冬	
ヨトウガ	トドマツ	静内署 (静内町)	被害は数本を一かたまりとして点在状に発生、700㎡防除。 その他の苗畑でも発生が認められる 被害面積 3㎡(静内町)	
マイマイガ	カラマツ		報告なし	
ヤナギドクガ	ポプラ	札幌市	街路樹	
マツカレハ	マツ類	札幌市		
ツガカレハ	トドマツ		報告なし	
スジコガネ	トドマツ	札幌市		
オオスジコガネ	カラマツ	千歳市 早来町		
ハンノキ ハムシ	ハンノキ	門別町	被害面積 0.40ha	
アカタマゾウ	ヤチダモ		長沼町の被害は減少	
スギノアカネ トラカミキリ	スギ	松前林務署 (松前町)	被害面積16.00ha (推定)	
マルクビヒ ラタカミキリ	カラマツ	早来町	被害6.00ha 393㎡	
シラフヨツボ シヒゲナガ カミキリ	トドマツ	池田林務署 (浦幌町) 浦幌林務署 (音別町)	(被害量) 200㎡ 200㎡	巻立土場、損傷木 凍裂木、衰弱木および心材腐朽木などに発生、はく皮防除
ヤチダモノナ ガキクイ	ヤチダモ	鶴川署 (鶴川町)	治山造林木 被害面積 0.80ha(鶴川町)	
カラマツコキ クイムシ	トドマツ	岩見沢署 (浜益町)	59年春植栽で降雨がなく、乾燥衰弱した造林木の幹部に寄生加害 被害面積 20.66ha(浜益町)	
ヤツバキクイ ムシ	エゾマツ	富良野署 (富良野市) 置戸署 (置戸町) 津別署 (津別町) 網走署 (網走市) 美幌町 (東藻琴村)	(被害面積)	(被害本数・量) 230本 11.10ha 1,132㎡ 14.74 5,211㎡ 43.27 20,550㎡ (含むトウヒ) 1,025.51

		小清水署 (小清水町)	440.00	7,500㎡
		斜里署 (斜里町)	23.40	1,000㎡
		清里署 (清里町)	15.20	1,100㎡ (含トドマツ)
		苫小牧市	アカエゾマツ0.60	56㎡ (東大演習林 13,000㎡)
			計1.573.82	
			(被害面積)	(被害本数・量)
カラマツ	カラマツ	士別署 (士別市)	28.34ha	1,619本
ヤツバキ		白滝署 (白滝村)	6.30	35㎡
クイムシ		斜里署 (斜里町)	0.40	40㎡
		士別市	7.04	110㎡
		和寒町	20.52	1,071㎡
		中川町	8.84	56㎡
		下川町	5.36	180㎡
		小清水町	8.00	876㎡
		釧路町	5.00	53㎡
		足寄町	35.22	1,170㎡
			計 125.02	計 3,591㎡

註・署＝営林署、北海道局＝北海道営林局

昭和59年1～12月に報告された関係文献

- ① 小泉 力・吉田成章：北海道で昭和49～58年に発生した主な森林害虫，昭和58年度林業試験場北海道支場年報 76～78
- ② 吉田成章・小泉 力・秋田米治・福山研二：フェロモンによるヤツバキクイムシの誘殺(I)，森林防疫33，39～43
- ③ 鎌田直人(東大)・吉田成章・高井正利：エゾマツカサアブラムシの生態，95回日林論 507～508
- ④ 寺崎幸夫(東大)・福山研二・吉田成章：カラマツに対するカラマツヤツバキクイムシ加害性検討試験，95回日林論485～486
- ⑤ 鈴木重孝：風雪害とカラマツヤツバキクイ，光珠内季報No60，7～11
- ⑥ 小泉 力：昭和58年度に北海道に発生した森林害虫，北方林業，36，165～170
- ⑦ 吉田成章・小泉 力・秋田米治・福山研二：フェロモンによるヤツバキクイムシの誘殺(II)，森林防疫，33，114～117
- ⑧ 館 和夫：道南地方の樹木病虫害(広葉樹編-II)，光

- 珠内季報 No61，9～12
- ⑨ 吉田成章・福山研二・小泉 力・秋田米治：風倒地でのフェロモンによるヤツバキクイムシ誘殺試験(V)，日林北支講，32，58～60
 - ⑩ 同 上：風倒地でのフェロモンによるヤツバキクイムシ誘殺試験(VI)，日林北支講 32，61～62
 - ⑪ 秋田米治：林試北支実験林の造網性クモ類と捕獲昆虫類，日林北支講 32，64～65
 - ⑫ 吉田成章：ヤツバキクイムシのフェロモン，山林，1204，52～53
 - ⑬ 高井正利：支場実験林でのエゾマツオオアブラムシの1983年の動態と天敵，昭和58年度支場年報，53
 - ⑭ 秋田米治：ムナグロヒメグモ垂成体とヤマハクゲコモリグモの捕食量，昭和58年度支場年報，54
 - ⑮ 鈴木重孝・駒井古実：北海道における針葉樹を摂食する小蛾類，北海道林試研究報告 22，85～129
 - ⑯ 鈴木重孝：針葉樹のカミキリムシ被害 光珠内季報 62，10
 - ⑰ 東浦康友：マイマイガ防除にも役立つカラマツの技打ち，光珠内季報 62，11
 - ⑱ 福山研二・富沢昌章：マイマイガを食べたヒメネズミ，森林保護 No182，28～29
 - ⑲ 武田善直・栗木和義・佐久間隆雄(新得署)：穿孔虫による素材の被害状況と今後の対策，帯広営林支局，昭和59年度業務研究発表集 76～81
 - ⑳ 千葉 博(根室北部林業指導事務所)：ミスジツマキリエダシヤクの生態と被害について，昭和58年度林業技術研究発表大会論文集，林業改良普及協会 160～161
 - ㉑ 小野芳宏・外崎 進・高橋 勇・横島靖夫(阿寒署)：パンケトー地域における虫害発生状況について，帯広営林支局，昭和59年度業務研究発表集 71～75
 - ㉒ 福島 淳・山中理誼(網走支庁)：カラマツヤツバキクイの発消長に及ぼす気候の影響について，昭和58年度林業技術研究発表大会論文集 林業改良普及協会，158～159
 - ㉓ 青沼悦生・宮川重友・工藤 勉・貝澤 勝・斉藤誠・平尾 宏・工藤昌範(苫小牧営林署)：アブラムシ防除における効果的な薬剤散布について，北海道営林局，昭和59年度業務研究発表集録 148～154
 - ㉔ 高見俊夫・武川吉五郎(八雲営林署)：アブラムシ駆除用薬剤散布器の改良について，函館営林支局，昭和58年度業務研究論文集，90～96